

育てた野菜を美味しく食べる 西谷幼稚園でカレーパーティー

西谷幼稚園でカレーパーティーが開催されました。カレーには、園で採れた人参やきゅうりなどの野菜と保護者や地域の人などからいただいた野菜がたっぷり入っていました。子どもたちは、手伝って作ったカレーに舌鼓を打っていました。子どもたちは、「どの野菜もいつもより美味しい」と何度もおかわりをしていました。



絵本の世界から飛び出した こあらクラブが開催

7月1日、いわがらこども館で「こあらクラブ」が開催されました。参加した親子20人は、満面の笑みでダンスや工作をして遊びました。

今回のこあらクラブは「きんぎょがにげた」の絵本の物語に因んだ活動です。壁に隠された金魚を探したり、自分で作った金魚の水槽で遊んだりして楽しいひとときを過ごしました。



地球の未来を考える みつろうラップでエコライフを

6月20日、東谷小学校でみつろうラップが行われました。みつろうラップは、蜜蜂の蜜ろうからできた繰り返し使えるラップのこと。マイクロプラスチックの地球への影響を学んだ後、布の上で蜜ろうを

アイロンで溶かしながらマイラップを作りました。子どもたちは、「思ったよりも簡単だった」「プラスチックの環境への影響に驚いた」「家でもぜひ作ってみたい」と目を輝かせていました。



Interview



ドリームズスポーツ少年団 6年生

(左から) 西中大翔さん、高橋 喜さん、柏村大翔さん、山崎 純さん、小田原 昊汰さん

野球はとっても楽しいです。ずっと優勝を目指して、練習してきました。これからは、下級生のみんなにも、頑張ってもらいたいです。



声援を力に変えて ドリームズカップ開催

市内の少年軟式野球チームドリームズによるドリームズカップが行われました。県内から集まった総勢20チームが熱戦を繰り広げました。ドリームズは初日、2日目ともに順調に勝ち上がり、見事優勝を

収めました。優勝はこれまでの16回の大会で初めて。ドリームズのメンバーは明るく、試合の間はもちろん、試合中は前向きな言葉を掛け合って励ます姿が見られました。今後の活躍が期待できます。

びよびよクラブ 公民館で一緒にあそぼ!

びよびよクラブは市内の保育所や幼稚園、公民館、集会所などで開催され、保育士と一緒に遊んだり、気軽に子育ての相談ができたりします。

この日は体操をしたり絵本を読んだりしてゆったりとした時間を過ごしました。保護者同士も仲が良く、「何歩か歩けるようになってびっくりした」と子どもの成長の様子を互いに喜んでいました。



私のお金は何に使われる? 南吉井小学校で租税教室

南吉井小学校6年生が参加した租税教室では、税金の使い道を身近な生活から学びました。授業の中で実際の1億円の重さがあるトランクを持つ体験をしました。トランクを持った子どもは、「意外と重くて持つのが大変だった」と汗を流しました。今年度も租税教室は市内の小学校でそれぞれ行われる予定です。

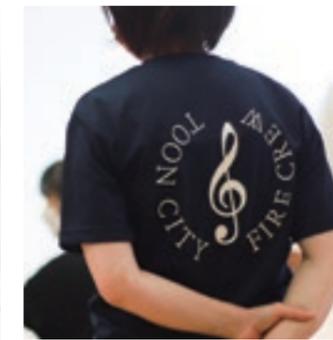
花菖蒲園の1年の終わりと始まり 紫陽花の花摘み

6月末まで観客を魅了した白猪の滝公園の花菖蒲園で、紫陽花の花摘みが行われました。花摘みは、草木の形や新しい芽にとって大切な作業で、ドライフラワー作りや挿木などにも利用できると参加者から好評。参加者は汗を流しながら花を摘み取りました。花摘みは、今年の花菖蒲園の終わりと、来年のための新たな一歩となりました。



3年ぶりの熱戦! 第14回東温市民バレーボール大会

6月26日、ツインドーム重信ほか3会場で東温市民バレーボール大会が開催され、24チーム250人が熱戦を繰り広げました。3年ぶりの開催に各チームとも笑顔が溢れ、親睦を深めていました。(1部男子)Aブロック優勝：志津川分館、Bブロック優勝：牛淵分館 (2部)Aブロック優勝：田窪分館、Bブロック優勝：志津川B分館



地域の防災を担う大切な力 女性消防団員が各分野で活躍

市内で女性消防団員が活躍しています。市内の女性消防団員は21人。防災意識を高める図上訓練や心肺蘇生法を地域の人たちに教える講習会への参加、消防操法訓練のアンバサダーなどさまざまな場面で活躍しています。女性消防団員の皆さんは、「女性消防団員は、広報活動やいざという時の心肺蘇生を学んでいます。自分たちが貢献できることが少しでも増えたら」と話しました。

で活躍しています。女性消防団員の皆さんは、「女性消防団員は、広報活動やいざという時の心肺蘇生を学んでいます。自分たちが貢献できることが少しでも増えたら」と話しました。



私たちができること SDGsを中学生が学ぶ

7月に重信中学校で東温市消費者相談員による出前講座(消費者教育)が行われました。対象は1年生。クイズを交えて食品ロス・SDGsについて学び、「カレー買い物ゲーム」を通じて体験学習を行いました。

た。日本人の食品ロスが、飢餓に苦しむ人への食糧援助量の約2倍になることに生徒の皆さんは驚いていました。食品ロスを減らすために自分達ができることを一人ひとりが考えていました。

環境問題を身近で体験 川上小学校で e-program

「竜巻を起こして触ってみましょう」と話す松山気象台職員の皆さん。特別な竜巻発生装置に手をかざすと「意外と冷たい。風が強い」と口々に話す子どもたち。「本物はこれ以上に大きく、車が飛ばされ

る」と聞くと子どもたちから驚きの声が上がりました。別の教室では、1970年代と現代の食材に注目して、商品の品揃えや買い方、物の値段や量などから環境について学びました。

